

# 未成年者参加大会 運営の手引き

発行： 2026年2月16日

一般社団法人日本モルック協会

本手引きは、未成年者が安心・安全に大会へ参加できる環境を整備するとともに、主催者の責任範囲を明確にし、法的リスクを適切に管理することを目的とする。

## 目次

1. 事前準備・同意に関する事項	
(1) 保護者同意の取得	2
(2) 緊急連絡体制	2
2. 大会当日の運営体制	
(1) 監督・引率体制	3
(2) 安全管理・救急対応体制	3
(3) 会場管理	4
(4) 競技エリア・観戦ルール	5
(5) 家族連れ参加者への配慮	5
3. 規程・ルール面の整理	
(1) 参加資格の明確化	6
(2) 行動規範	6
4. 保険・法的対応	
(1) 傷害保険	6
(2) 個人情報保護	6
5. コミュニケーション	
(1) 事前情報提供	7
(2) 事後対応	7
6. 運用上の原則	7
補足:モルック大会における実務的留意点	8

## 1. 事前準備・同意に関する事項

---

### (1) 保護者同意の取得

参加申込時に保護者の署名（または電子同意）を**必須**とする。

同意書には以下を明記すること：

- 大会参加に伴う一般的なリスク（怪我、事故、体調不良等）
- 主催者の免責事項
- 応急対応・救急搬送に関する同意
- 写真・映像の撮影および広報利用の可否
- 個人情報の取扱方針
- 緊急時の連絡体制と保護者の対応義務

### (2) 緊急連絡体制

- 保護者の緊急連絡先（最低1名、可能であれば複数）を事前登録
- アレルギー、持病、服薬、配慮事項の事前申告を**必須化**
- 当日、保護者が連絡可能な状態にあることを確認

## 2. 大会当日の運営体制

### (1) 監督・引率体制

#### 重要 成人引率者に関する要件

未成年者の参加形態に応じて、以下の基準を適用する：

① 小学生以下が含まれるチーム

- **成人引率者の同伴を必須とする**
- 引率者は試合・競技中も会場内に待機し、必要時に応える状態を保つこと
- 引率者は保護者または保護者から委任を受けた成人（20歳以上）とする

② 全員が中学生以上のチーム

- 成人引率者がいない場合でも参加を認める
- ただし、以下の条件を満たすことを必須とする：
  - 保護者全員の事前同意を得ていること
  - 当日、全参加者の保護者と確実に連絡が取れる体制が整っていること
  - 代表者（キャプテン等）が大会本部との連絡窓口となること
  - プロブレム発生時には速やかに保護者へ連絡し、指示を仰ぐこと

③ 大会本部の体制

- 引率者がいない未成年者チームについては、受付時に特別な確認を行う
- 会場内に未成年者の安全を見守る専任または兼任の管理スタッフを配置
- 緊急時の連絡フローと責任者を明確化しておく

### (2) 安全管理・救急対応体制

① 熱中症対策

- 水分補給の定期的な呼びかけ
- 休憩時間の十分な確保
- 日陰・屋内スペースの確保

## ② 救急対応

- 応急処置セットの常備
- AEDの設置と設置場所の明示
- **必須** 運営スタッフのうち、少なくとも1名以上はAED使用方法を含む救命講習を受講済みであること
- 近隣医療機関（病院・診療所）の連絡先をスタッフ間で共有
- 緊急時の連絡・搬送フローを事前に文書化
- 119番通報時の情報伝達シート（会場住所、状況説明フォーマット）を準備

## ③ 会場管理

- 未成年者が単独で会場外に出る場合のルールを明確化（原則禁止／保護者・引率者同伴等）
- 貴重品管理に関する注意喚起
- トイレ・更衣・移動時の安全確保（死角・立入禁止区域の管理）
- 天候悪化時の避難場所と避難手順の事前確認

#### (4) 競技エリア・観戦ルール

##### 引率者・保護者の行動規範

###### ① 競技中の立ち入り制限

- 競技エリアへの立ち入りは、原則として選手および大会スタッフのみとする
- 引率者・保護者は指定された観戦エリアから応援すること
- 緊急時（怪我・体調不良等）を除き、競技中に選手に接触しないこと
- やむを得ず競技エリアに入る必要がある場合は、大会本部の許可を得ること

###### ② 応援・声援に関するルール

- 過度な声援や威圧的な応援は禁止する
- 相手チームや審判への誹謗中傷、ヤジは厳禁
- 過剰な身振り・旗・横断幕等による他者の観戦妨害を禁止
- 違反行為が認められた場合、大会本部から注意・退場指示を行う場合がある

###### ③ 審判・運営判断の尊重

審判や運営スタッフの判断に対して、引率者・保護者が異議を唱える場合は、競技終了後に大会本部を通じて正式な手続きで行うこと。競技中の抗議行動は認めない。

#### (5) 家族連れ参加者への配慮

##### 付き添い家族への環境整備

- 休憩スペース：未就学児や付き添い家族が休息できる場所を確保
- 飲食スペース：弁当等を食べられる場所を明示（ゴミ箱設置、衛生管理）
- 授乳・おむつ替えスペース：可能な範囲で配慮
- 待機時間の長い家族向けに、待機場所や近隣施設の情報を事前提供

### 3. 規程・ルール面の整理

---

#### (1) 参加資格の明確化

- ・「未成年者のみでの参加を認める年齢」を大会要項に明示（例：全員中学生以上）
- ・年齢によるチーム編成制限の有無（混合可否など）を記載
- ・引率者なし参加の可否基準を事前に定め、参加者に周知

#### (2) 行動規範

- ・大会中の禁止行為・遵守事項を明文化
- ・SNS・写真投稿に関する注意事項（他参加者の写り込み、誹謗中傷の禁止等）
- ・トラブル・体調不良・事故が発生した場合の報告先と対応フローを明示
- ・重大な違反行為に対する罰則（失格、出場停止等）を規定

### 4. 保険・法的対応

---

#### (1) 傷害保険

- ・参加者のスポーツ安全保険等への加入状況を確認
- ・必要に応じて、主催者として包括的な傷害保険への加入を検討
- ・保険の適用範囲・免責事項を要項または同意書に明記
- ・保険適用外のケース（故意・重過失等）についても説明

#### (2) 個人情報保護

- ・未成年者の個人情報は利用目的を限定し、厳重に管理
- ・写真・映像の使用については、事前に明確な同意を取得
- ・不同意者への配慮を徹底（撮影時のビブス着用、画像のトリミング等）
- ・個人情報漏洩時の対応手順を整備

## 5. コミュニケーション

---

### (1) 事前情報提供

- 大会要項に、未成年者参加に関する注意事項・安全対策を明記
- 保護者向け説明資料（PDF等）の作成と配布
- 問い合わせ窓口（担当部署・連絡先）の明示
- よくある質問（FAQ）の整備

### (2) 事後対応

- 怪我・事故・トラブル発生時は、速やかに保護者へ連絡
- 軽微な事案でも、必ず大会本部経由で報告・記録
- 事故報告書の作成・保管と再発防止策の検討
- 重大事故の場合は、保険会社・関係機関への報告を速やかに実施

## 6. 運用上の原則

---

- 「未成年者の安全確保を最優先」とする
- 金銭的・人的リソースが限られる場合でも、同意取得・連絡体制・緊急時対応は必須項目として省略しない
- 主催者・引率者・保護者の責任範囲を事前に明確化する
- 疑義が生じた場合は、安全側に判断する（疑わしきは中止・延期）
- 前例主義に陥らず、常に最新の法令・ガイドライン・手引きを確認

## 補足:モルック大会における実務的留意点

特に注意すべき論点：

- **未成年のみ参加の取扱い**

中学生以上であれば引率者なし参加可とするが、保護者同意と緊急連絡体制は必須。小学生以下が一人でも含まれる場合は、成人引率者の同伴を必須とする。

- **写真・SNSトラブル防止**

地域大会ほど参加者が顔見知りで撮影が頻繁になるため、要項と同意書で明確化し、不同意者への配慮を徹底する。

- **事故対応の徹底**

軽微な怪我でも、必ず大会本部経由で保護者に連絡するルールを厳守。記録を残し、後日のトラブルを防ぐ。

- **熱中症リスク**

屋外開催の場合、特に夏季は水分補給・休憩の強制的な実施を検討。  
未成年者は自己判断が不十分な場合がある。

- **審判・運営への敬意**

引率者・保護者からのクレーム対応を想定し、正式な異議申し立て手順を整備しておく。感情的な抗議を予防する。

---

## 附則

本手引きは、法令の改正や実務運用の知見蓄積に応じて、隨時見直しを行う。